



医療法人 錦秀会

阪和第二泉北病院

最新のハイパーサーミア

(がん高周波温熱療法治療機器)を導入しました

1.ハイパーサーミアとは

正常組織は毛細血管がすみずみまではりめぐらされ、加温によって毛細血管が拡張し、血流が増加し熱の放散が起こるため、組織の温度が上がらない仕組みになっています。一方でがん組織の血管は急速に新生したため、毛細血管が拡張せず、加温によって熱が上がりがやすくなっています。その結果、42℃程度の加温で正常細胞は損傷が見られないのに対して、がん細胞は血流が少ないため、血管が拡張されず蓄熱し、高温に耐えきれず死滅します。

当院では新しく開発された“THERMOTRON-RF8 GR edition”を関西地区で1号機(全国でも5番目)として導入しました。

2.特徴 ※熱によるがん細胞の致死効果以外に次のような特徴もあります。

その他の治療と併用することが可能で、相乗効果が期待できます。

- 放射線治療の効果を増強させます。
- がん組織へ薬剤(抗がん剤等)の取り込みを増やします。
- がんとその周辺を高周波で加温し、がんの縮小やがんの増悪しない(維持)効果などが期待されます。他に痛みなどの症状を和らげる効果、免疫力を高める効果、さらには放射線治療や抗がん剤治療の副作用を軽減する効果などが期待されます。
- 蓄積される副作用は無いため何回でも繰り返し治療でき、放射線治療や抗がん剤治療と併用することで、それらの治療効果を高めます。

阪和第二泉北病院の概要

(入院機能)

一般病棟39床、地域包括ケア病棟55床、緩和ケア21床
療養病棟734床、障害者施設等一般病棟120床

(標榜診療科目)

内科、循環器内科、外科、整形外科、眼科、麻酔科
リハビリテーション科、放射線診断科、歯科口腔外科

(その他診療機能)

・人工関節センター、・健診センター、・PETセンター

(主な診断機器)

MRI(1.5T)2台、X線CT(80列)1台、PET-CT2台
サイクロトロン1台、ハイパーサーミア、超音波診断装置
骨塩分析装置、その他

医療法人錦秀会 理事長

藪本 武志

阪和第二泉北病院 院長

井上 雅智



左から 増永医師、太田臨床工学技士

増永慎一郎医師【京都大学複合原子力科学研究所 教授 : 火曜日午後/専門外来担当】

かつて京大病院放射線科に導入されておりましたサーモトロンFR8の初代機を用いて、表在性並びに深在性腫瘍に対する温熱併用放射線治療や温熱併用化学療法の症例を多数経験して参りました。この経験を十分に活用し、関西地区に初めて導入されました" THERMOTRON-RF8 GR edition "の能力を最大限に発揮させ、手術、放射線治療、化学療法、免疫療法による治療効果の向上、患者様のQOLの向上を目指します。

お問い合わせ先 (完全紹介予約制)

『総合案内』: 月～金(祝日除く) 9:00～16:00

住所: 〒599-8271堺市中区深井北町3176番池、電話(代表): 072-277-1401

FAX: 072-277-1034、メールアドレス: hanwasenboku2@kinshukai.or.jp